

(別紙1)

平成29年度～平成33年度 社会福祉法人八戸市社会福祉事業団 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人八戸市社会福祉事業団		法人番号	4200-05-02961				
法人代表者氏名	高島 司							
法人の主たる所在地	青森県八戸市根城八丁目8番155号							
連絡先	0178-41-1215							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成30年5月30日							
評議員会の承認年月日	平成30年6月20日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	283,730	153,570	47,070	0	0	0		0
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		0	▲106,500	▲495,000	▲25,000	0	▲626,500	
本計画の対象期間	平成29年8月1日～平成34年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目						千円
						千円
	小計					
2か年度目	うみねこ学園 移転改築事業	社会福祉 事業	新規	・移転先用地購入 ・地質調査、改築設計	無	106,500 千円
						千円
	小計					
3か年度目	うみねこ学園 移転改築事業	社会福祉 事業	新規	・建築、外構工事 ・備品購入	有	495,000 千円
						千円
	小計					

4か年度目	うみねこ学園 移転改築事業	社会福祉 事業	新規	・事業開始 ・女子棟撤去	無	25,000 千円
						千円
	小計					25,000 千円
5か年度目						千円
						千円
	小計					0 千円
合計						626,500 千円

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<p>当社会福祉事業団は、八戸市から5つの施設を譲り受け運営しているが、うち4施設は老朽化が進んでおり、その改築が喫緊の課題となっている。</p> <p>同時に、各施設は、大舎制の構造を採っていて集団生活を基本としていることに加え、うみねこ学園、いちい寮、浩々学園は、入所者のプライバシーの確保という点で問題を抱えている。</p> <p>これらの課題を解決するためには、施設の改築が必要であるが、そのためには各施設の定員、果たすべき社会的な役割、機能が明確になっていなければならない。</p> <p>3つの施設のうち浩々学園については、平成29年8月に「新しい社会的養育ビジョン」が示され、児童養護施設の役割の劇的な変更が予想されていることから、現時点で明確な改築の構想を持つことはできない。</p> <p>一方、うみねこ学園といちい寮は、30年問題の決着を見、定員40名と60名で県市の承認を得ており、共に役割機能の変更は予想されていない。よって、まずは、うみねこ学園について大舎制から個室主体のユニット型施設へ改築することにより、課題の解決を目指すものである。</p> <p>また、うみねこ学園は、入所児童数が、現在小中学生が7名に対し高校生が23名となっており、高校生主体の入所施設である。平成29年度に隣接する八戸第二養護学校から高等部が分離独立し、鮫地区に高等支援学校として開校したことから、高校生は松館地区のうみねこ学園から鮫地区の高等支援学校へ通学するため、起床時間を早くせざるを得ず、これが入所児童全体の生活時間に過度の時間的制約を与えている。</p> <p>この時間的制約を解消し、小中学生、高校生ともに無理のない生活時間を確保するため、うみねこ学園については、改築に当たり高等支援学校に近い鮫地区へ移転する。</p> <p>また、30年問題の解決によりうみねこ学園の学卒者をいちい寮の定員増で受け入れることが可能となったため、いちい寮グループホームの増設は、当面必要性が低下した。しかし、生活の場の選択については、入所者一人ひとりの意思が尊重されるべきであり、今年度から取り組む意思決定支援研究の成果を受けて実際の意思決定支援を行い、入所施設の改築を構想することとする。このため、いちい寮の改築構想は未確定であるが、できるだけ早期に着手したい。</p>
② 地域公益事業	
③ ①及び②以外の公益事業	

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
うみねこ 学園移転 改築事業	計画の実施期間における事業費合計	0 千円	106,500 千円	495,000 千円	25,000 千円	0 千円	626,500 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額		106,500 千円	47,070 千円			153,570 千円
		補助金			186,061 千円			186,061 千円
		借入金			164,700 千円			164,700 千円
		事業収益						
		その他			97,169 千円	25,000 千円		122,169 千円

5. 事業の詳細

事業名	うみねこ学園移転改築事業	
主な対象者	障害児	
想定される対象者数	40名	
事業の実施地域	八戸市	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日	
事業の内容	障害児入所施設うみねこ学園の移転改築	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	移転先用地購入、地質調査、改築設計
	3か年度目	改築工事、移転完了
	4か年度目	事業開始、女子棟撤去
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	・ うみねこ学園移転改築事業 移転先用地購入 6,250円×8,000㎡=50,000千円 機械式ポーリング 4カ所=6,500千円 建築費 面積35㎡×定員40人+短期入所等100㎡=1,500㎡ 単価280千円/㎡×1,500㎡=420,000千円 外構工事費 15千円/㎡×1500㎡×2=45,000千円 設計委託料 50,000千円 備品購入 30,000千円 女子棟撤去 929㎡×27千円=25,000千円	
	合計	626,500千円 (うち社会福祉充実残額充当額 153,570千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由